文化芸術活動等に関する県民意識調査の結果について

1 調査目的

文化芸術活動等に関する県民意識を把握し、今後の文化行政推進の参考とする。

2 調査設計

- (1) 調査地域 愛媛県全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満 18 歳以上の男女
- (3) 回答者数 400 人
- (4) 調査方法 インターネットを利用したアンケート調査
- (5) 調査時期 令和 6 年 7 月 24 日～7 月 30 日

3 概要

【文化芸術イベントの鑑賞】

- ・この 1 年間に直接鑑賞したことがある文化芸術イベント（コンサートや美術館、映画館、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等）は、「映画（アニメーション映画を除く） 24.8%」、「歴史的な建物や遺跡 16.0%」、「アニメーション映画 15.8%」の順であったが、最多の回答は「鑑賞したものはない 40.3%」であった。
- ・鑑賞の頻度は、「年に数回程度 54.8%」、「年に 1 回程度 33.1%」と、87.9%が月に 1 回以下であった。
- ・鑑賞しなかった理由は、「近所で行われていない」と「関心がない」が 21.7%、「費用がかかりすぎる 19.3%」の順であった。

【文化芸術活動の実践】

- ・この 1 年間に実践したことがある文化芸術活動（創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加等）は、「地域の伝統的な芸能や祭りへの参加 7.8%」、「音楽、美術などの作品の創作」、「音楽の演奏、演劇等への出演」が同じ 5.0%の順であった一方で、最多の回答は「特にしていない 77.5%」であった。
- ・実践の頻度は、「年に数回程度 44.4%」、「年に 1 回程度 32.2%」と、76.6%が月に 1 回以下であった。

【文化的な環境】

- ・文化的な環境への満足度について、「満足している」「どちらかといえば満足している」をあわせて 34.8%、「満足していない」「どちらかといえば満足していない」をあわせて 35.3%と拮抗しているが、30.0%が「関心がない」であった。
- ・「満足していない」「どちらかといえば満足していない」理由は、「魅力的な活動・イベントがない 47.5%」、「参加できる活動がない 36.9%」であった。
- ・充実させるために重要なことについて、「ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設の充実 21.0%」、「歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進

16.8%」、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実 16.0%」の順であった。

【子どもの文化芸術体験】

・子どもの文化芸術体験に重要なことについて、「学校における公演や展示などの鑑賞体験の充実 31.3%」、「歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会の充実 27.0%」、「地域に密着した伝統的な文化体験機会をより多く提供 23.0%」の順であった。

【諸外国への発信】

・日本の文化芸術の魅力として発信すべき項目について、「伝統芸能（歌舞伎、能・狂言等） 26.8%」、「食文化 24.3%」、「マンガ・アニメーション映画 22.3%」の順であった。